

株式会社古賀製茶本舗（福岡県八女市）

創業200年超の製茶業者が挑むDX

DX推進の戦略・体制を整備

課題・背景（DXに取り組んだきっかけ）

✓ ベンダー任せだった基幹システムの運用

- ・基幹システムの構築や運用は地場ベンダーに任せており、ベンダーロックインされた状態。
- ・地場ベンダーの代表者が逝去し、同社は廃業。今後修繕対応できるエンジニアが存在するか不明。今後の運用が不安という待たなしの状況に直面。

改善（進行中）

✓ 基幹システム再構築PJ始動【2021年7月～2022年3月】

- ・ITコーディネーターとともに、現状把握（業務の流れの可視化、問題点の洗い出し）を実施。システムの比較検討は、社員全員で協議する等、社内外を巻き込んだPJに。

✓ 社内のDX推進体制の整備【2022年7月～】

- ・社長直下に「DX 推進部門」を設置し、プロジェクトリーダー、各部門より選出された推進員とともに DX を推進する体制を構築。外部専門家や金融機関とも連携。

✓ DX戦略の策定【2022年8月】

- ・DX認定制度の申請プロセスを踏むことで、自社のDXを考える機会に。経営ビジョンの実現に向け、デジタルガバナンスを向上していく準備が整う。

主な事業内容：八女茶製造・卸売・小売業・通信販売

福岡県八女市に本社を置く創業200年超の製茶業者。1819年の創業以来、外部環境の変化に対応しながらお茶の品質向上へ取り組み、「八女茶の体験を世界の生活者へ」との経営ビジョンを掲げ小売、卸、通信販売等を展開。

2022年9月製茶業者としては初となるDX認定を取得。

従業員：23名

HP：<https://koganoyamecha.co.jp/>



支援策・支援ツール活用

● デジタル化応援隊事業

自社の現状把握、課題の洗い出し、導入するITツールの選定を行うにあたり、専門家(ITコーディネータ)からアドバイスを。

● IT導入補助金

ITツール導入の費用負担を軽減すべく補助金を申請。

● ITコーディネータとの連携

DXプロジェクト遂行には支援者の存在は必須、事業理解があり信頼できる銀行のITコーディネータは◎。

プロジェクトを進めていく上で、いくつもの壁にぶつかりました。そんな時、弊社の事業を良く理解し、親身になって相談に乗ってくれるITCの植木さんの存在が、着実に成功まで導いてくれたと思っています。

IT経営推進者：株式会社古賀製茶本舗 古賀 万智子 氏

DX戦略を練る際には「誰をどう幸せにしたいのか」について考え抜くことが大切だと思います。誰というのは顧客（生活者）だけではなく従業員も含まれますが、特に「お茶を飲む」という身体的体験をテクノロジーによってどうアップデートできるか等、生活者体験をデザインすることに注力しました。このプロセスに伴走することも地域金融に求められる機能のひとつだと感じています。

IT経営支援者：ITコーディネータ（㈱福岡銀行）植木 尚之氏

今後

デジタル技術を活用し、日本茶のおいしさをまだ体験したことがない世界の生活者に広めていきたい！！

